

ストロングスーパー無し ストロングスーパー有り

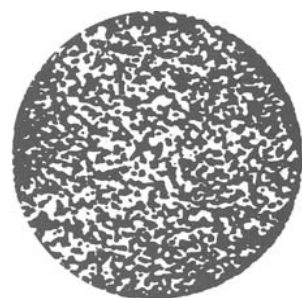


使用方法

SSは、現場到着した生コン車に投入します。
 投入前に必ずドラムを高速回転1~2回転した後
 SSを投入（生コン車ドラム内中央部に投入が最適です）
 しドラムを高速1~2回転した後に排出して下さい。
 注）SS投入後のドラム回転1~2回転は厳守のこと
 生コン車4m³に対して1包使用



凝集したセメント粒子
（ストロングスーパーなし）



セメント粒子の分散状況
（ストロングスーパー使用）

注意事項

- ストロングスーパーの使用量は規定量を厳守。
- ストロングスーパー投入後の回転数は1~2回転を厳守。
- ストロングスーパー投入後、スランプ調整のために行う加水は効果がありませんので避けて下さい。
- 材料分離の防止に効果はありますが、気中コンクリート以上に慎重に打設することをお願いします。
- ストロングスーパーの包紙は水に溶けやすい紙質のため、湿気は厳重に避けて下さい。
- 保管は必ず当社専用のボトルに密閉して下さい。

地球環境を考える
FS 有限会社フォーム産業

〒891-0150
 鹿児島市坂之上六丁目15番17号
 TEL(099)263-0770 FAX(099)263-0788

ホームページ : <http://formsangyo.co.jp/>
 メールアドレス : info@formsangyo.co.jp

Form Industry Co., Ltd.

荷姿

白粉末状包紙
 1ボトル（2.5gが50包）



Strong Super

地球環境を考える
FS 有限会社フォーム産業

<http://formsangyo.co.jp/>

Ionomer Resin セメント分散剤



ストロングスーパーとは

陽イオン、陰イオンと非イオンに電離し強いイオン活性を呈する白粉末状の特殊な製品です。ストロングスーパーは、この電離作用で分散しセメント粒子表面に吸着し静電的にセメント粒子が反発し合い個々に分散する。セメント粒子が分散することにより粒子間に水が浸透し易くセメントペーストの軟度、流動性を良くします。またセメントが水と接触し易い状態になり水和が促進されブリーディングが減少することに伴いクラックの発生を減少させる製品です。

ストロングスーパーの特徴

コンクリートの性能向上

- ワーカビリティの改善、向上。
 - 流動性がよくなる。
 - ブリーディングが減少する。
 - 分離傾向が現象する。
- 早期並びに長期強度の向上が期待できる。
- 亀裂の防止、減少に効果がある。
- 組織が緻密になり、耐久性が期待できる。
- 表面気泡が減少し、外観的に緻密で美麗である。
- レータンスが減少、水浮き防止が可能となり、エフロレッセンス発生が減少する。
- 寒冷地における凍結防止に効果がある。
- 早期脱型が可能となり、その上、型枠油が節減できる。
- 流動性がよいからポンプ打設が容易になる。
- 水中打設においても分離が生じない。
- コンクリート中に混入される塩分の排出効果が期待できる。

モルタルの性能向上

- ラス使用モルタル仕上げにおいて1層仕上げが可能である。
- 保水性が良好で、粘性が永く持続できる。
- 吹付け工事において、ダレが起らない。
- タイルの接着が強固となり、目地施工が容易で、かつ美しく仕上がり、その後の目地切れ、亀裂防止が可能である。
- モルタル表面が緻密で、エフロレッセンスが発生しにくい。
- 既設モルタル壁などの亀裂補修が完全に施工できる。

ストロングスーパー（試験例）

種類及び用途

コンクリートの分類\商品名	SD1	SD2	SD4
水中コンクリート	●		
普通コンクリート		●	
普通コンクリート (冬季用)			●

使用量

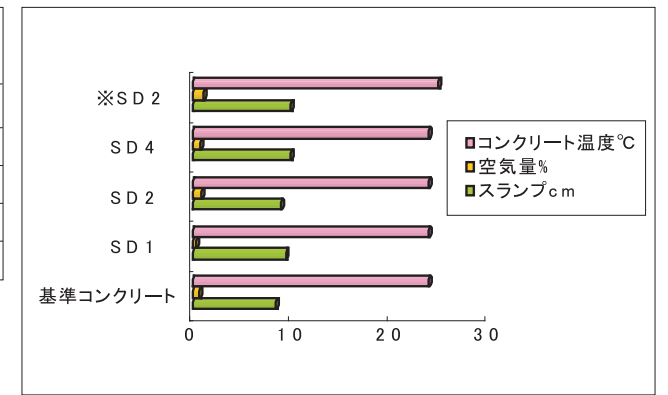
SDの使用量は、0.6g/m³
注) 使用量は厳守のこと

まだ固まらないコンクリートの性状(代表的試験例)

配合: セメント量 300kg/m³-8-20N

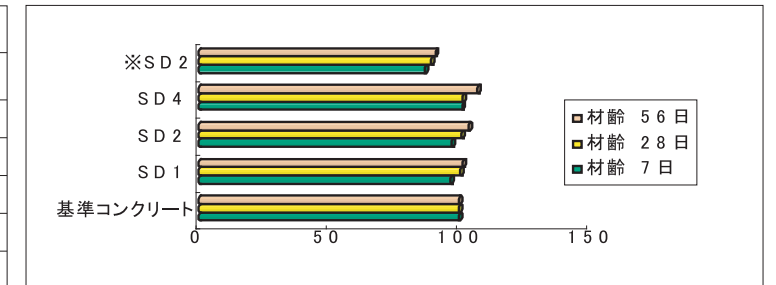
コンクリートの種類	スランプ cm	空気量 %	コンクリート温度 °C	ワーカビリティ
基準コンクリート	8.5	0.7	24.0	
SD1	9.5	0.4	24.0	良好
SD2	9.0	0.9	24.0	良好
SD4	10.0	0.8	24.0	良好 粘性大
※SD2	10.0	1.1	25.0	良好 粘性大

※: SD2の使用量を規定の2倍としたとき
コンクリートの材料
セメント: 普通ポルトランドセメント
細骨材: 海砂、砕砂の場合
粗骨材: 砕石2005



強度の結果

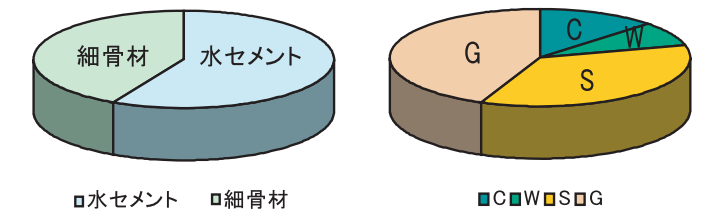
コンクリートの種類	圧縮強度比 %		
	材齢 7日	材齢 28日	材齢 56日
基準コンクリート	100	100	100
SD1	96.8	100.7	101.6
SD2	97.3	101.0	103.6
SD4	101.2	101.3	107.2
※SD2	86.8	89.4	90.9



注) 圧縮強度比は基準コンクリートを100としたときの比率
※: SD2の使用量を規定の2倍としたとき

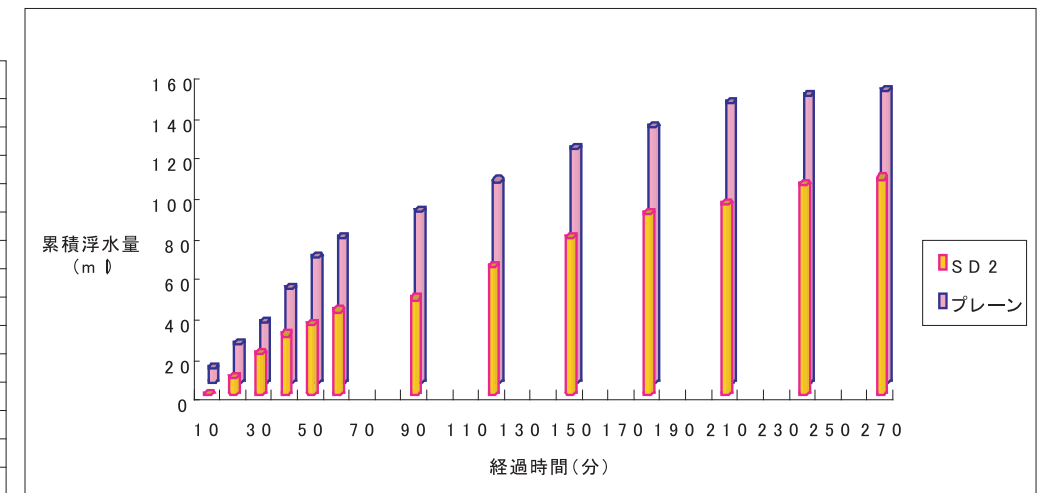
コンクリートのブリーディング試験

コンクリートの材料
セメント: 普通のポルトランドセメント
細骨材: 海砂、砕砂の場合
粗骨材: 砕石2005



累積浮水量

経過時間	プレーン	SD2
0	0	0
10	7	0
20	19	9
30	30	21
40	47	30
50	62	35
60	72	42
90	85	48
120	100	64
150	116	79
180	127	91
210	139	95
240	143	105
270	145	108



ブリーディング量

コンクリートの種類	ブリーディング量 cm ³ /cm ²	ブリーディング量の比 %
基準コンクリート (プレーン)	0.32	75
ストロングスーパー (SD2)	0.24	

